



## 水産海洋シンポジウム

### 漁業と水産業を持続させるために水産海洋研究が目指すべき途とは?

日時: 2022年3月26日(土) 13:00~17:20

場所: オンライン

主催: 一般社団法人水産海洋学会

共催: 日本海洋学会

コンピーナー: 米崎史郎 (水産機構資源研)・高須賀明典 (東大院農)・黒田寛 (水産機構資源研)・宍道弘敏 (鹿児島県)・宮本洋臣・谷内由貴子・佐々木裕子 (水産機構資源研)

参加登録: <https://forms.gle/wwrk6fxtSqqALAUv5> (締切 3月23日(水) 23:59)

水産海洋学会長挨拶	13:00~13:05
木村伸吾 (一般社団法人水産海洋学会会長)	
開催趣旨説明	13:05~13:20
米崎史郎 (水産機構資源研)	
座長 (1~2): 黒田寛 (水産機構資源研)	
1. 国立研究開発法人における人材育成	13:20~13:50
中田薫 (水産機構)	
2. 東京大学海洋アライアンス連携研究機構の仕組みと試み	13:50~14:20
木村伸吾 (東大大気海洋研)	
座長 (3~4): 宍道弘敏 (鹿児島県)	
3. 海洋産業 AI プロフェッショナル育成卓越大学院プログラム	14:20~14:50
竹縄知之 (海洋大)	
休憩	14:50~15:00
4. 都道府県水産研究機関における組織と人材育成	15:00~15:20
山本昌幸 (香川水試)	
志田修 (道総研函館水試)	15:20~15:40
座長 (5~6): 谷内由貴子 (水産機構資源研)	
5. 日本海洋学会における若手・女性研究者活性化の取り組み	15:40~16:10
田所和明 (水産機構資源研)	
野口真希 (海洋研究開発機構)	
6. 水産海洋学会における若手研究者活性化の取り組み	16:10~16:40
佐々木裕子 (水産機構資源研)	
休憩	16:40~16:50
7. 総合討論	16:50~17:20
座長: 高須賀明典 (東大院農)・米崎史郎 (水産機構資源研)	



## 開催趣旨

改正漁業法、MSY ベースの資源管理システム、SDGs 等、最近の水産海洋分野を取り巻く様々な情勢の下で、水産海洋研究においては益々社会実装を想定・意識した研究開発が求められている。また、関連分野との連携の重要性も増している。同時に、このような新しい情勢と動向に対応できる視野・発想をもつ人材育成・人材確保も急務となっている。本シンポジウムでは、水産海洋研究を担う様々な機関から大型プロジェクトや人材育成の取り組みについて紹介頂くと共に、それぞれの視点から求められる将来研究や人材育成のニーズを議論することにより、今後の水産海洋学における研究展開・人材育成の材料とする。